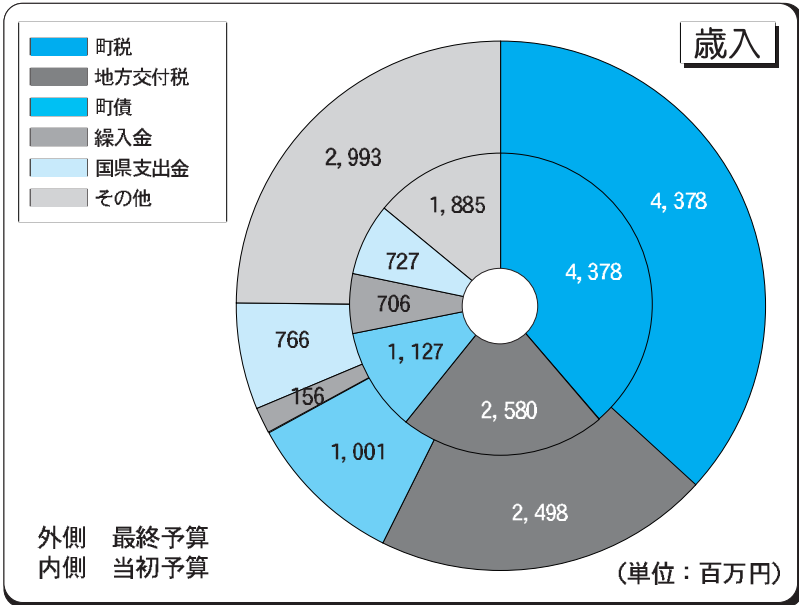
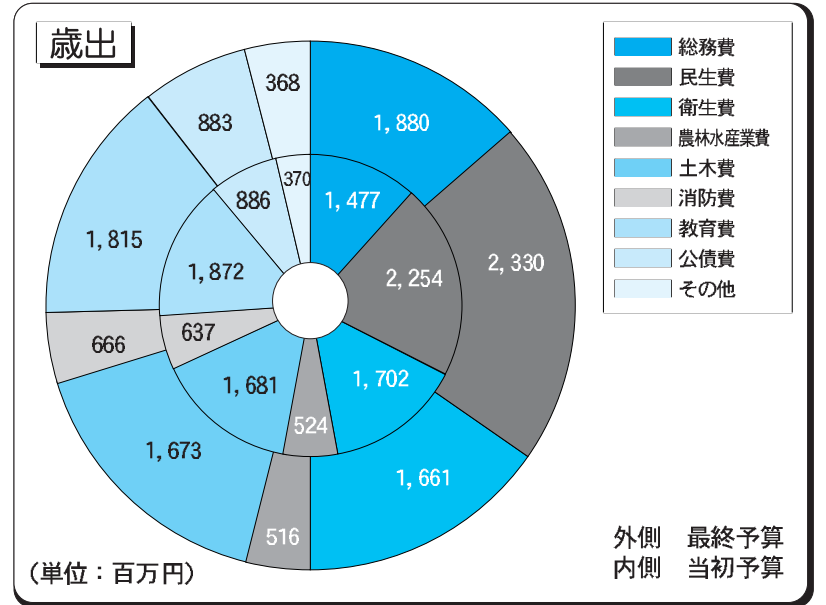


◇平成18年度一般会計最終予算◇

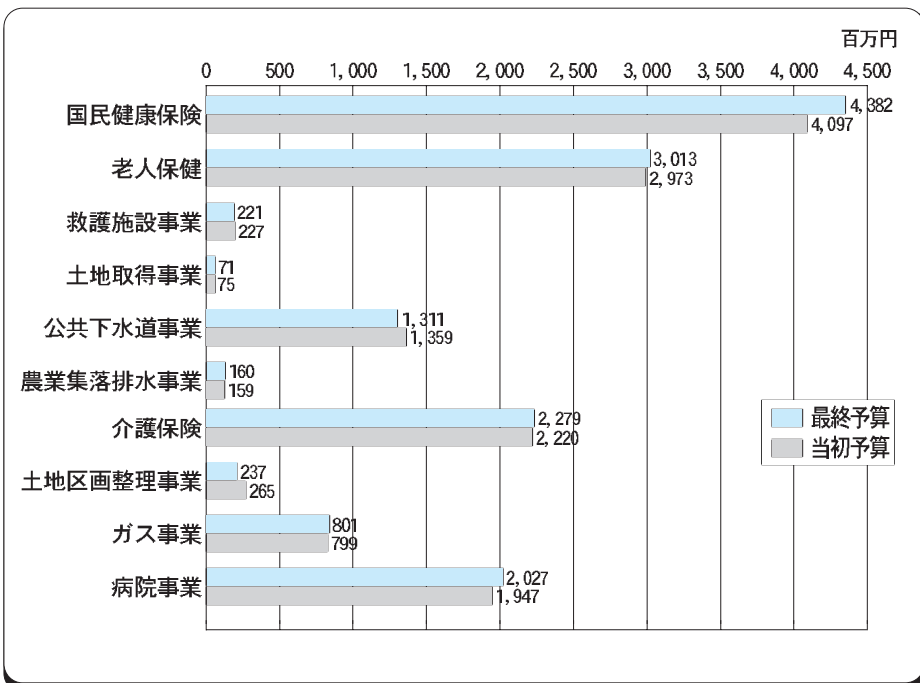
歳入では、寄附金が当初予算よりも約9億2千万円上回ったことから、その他の収入が大きく伸びたため、その分基金からの繰入金を減少させました。歳出では、寄附金の一部を基金に積み立てたことから総務費が増えています。



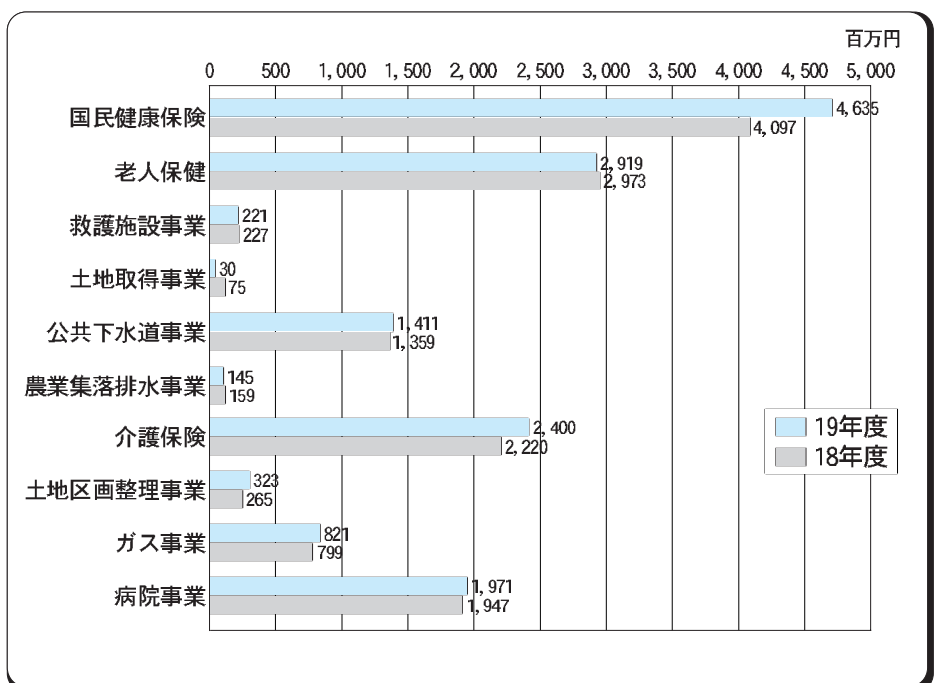
当初予算
114億300万円
最終予算
117億9,253万円



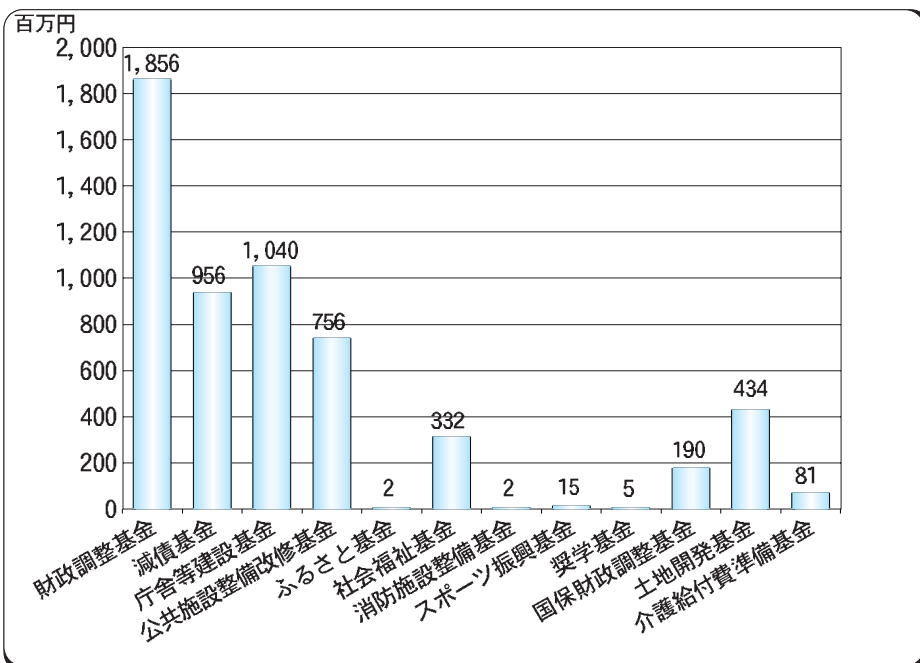
◇平成18年度特別会計・企業会計最終予算◇



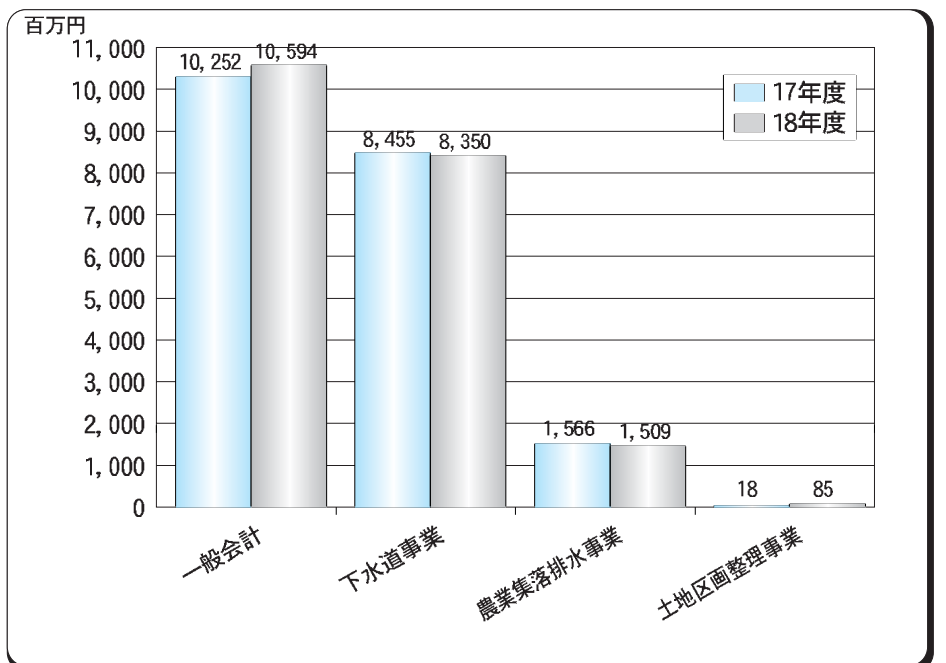
◇平成19年度特別会計・企業会計予算の状況◇



◇基金現在高の状況◇



◇借入金現在高の状況◇



平成18年度末の基金現在高は、総額で約56億7千万円と平成17年度末より約6億円増えています。内訳としては、財政調整基金が約3億3千万円、公共施設整備改修基金が約2億3千万円増えています。なお、平成19年度は一般会計で約4億5千万円の取り崩しを予定しています。

平成18年度借入金現在高は、一般会計で約105億9,400万円、特別会計合計で約99億4,400万円となる見込みです。一般会計では、平成17年度より約3億4,000万円増えています。特別会計では約9,500万円減少しています。一般会計の借入金が増加している大きな要因は、平成13年度から地方交付税の一部が臨時財政対策債に振り替えられたことによるものです。平成18年度には臨時財政対策債を4億8,060万円借り入れる予定です。なお、臨時財政対策債は後年度に地方交付税で100%措置されることになっています。